



# 菊花

# 被服部

私たちは、毎週月曜日と木曜日に活動しています。

主に文化祭に向けての作品作りをしていて、それ以外は各自で作りたいものを作っています。

4月に行われる新入生歓迎会では、文化祭に向けて製作した衣服を着て、ファッションショーを行っています。また、年に2回開催されるオープンキャンパスでは、デザイン画を描く体験をしていただいています。



↑ オープンキャンパス



↑ ファッションショー

今年の被服部は全体のテーマを「感情」にして、  
部員一人一人がさまざまな感情から1つ選んで作品を製作しました。

テーマ紹介をしてくれた部員の1人が、

「SNSの普及が進み世の中が情報過多となる一方で、  
世界中の人の自分の気持ちについて考える時間が減っていつている。  
そこで、部員が自分自身の感情と向き合いながら、服を使って感情を表現すること  
によって、閉ざしているものが解放できるのではないか。また、言葉では共通な  
ものであるはずなのに人によって感じ方、表現の仕方が違うということが目に見えて  
理解できると思う。」と提案してくれました。

今回企画名を「雛菊」にした理由は  
黄色い雛菊の花言葉が「ありのまま」であり、  
全体のテーマ「感情」に相応しいと思ったからです。

さまざまな感情の中から1つの感情を部員が選び、製作した作品は楽しい、安らぎ、幸せ、自信、不安×信頼、不安のポジティブ、ネガティブなものを合わせて7つです。

また、同じ感情でも人によってイメージするデザインが違うことから、「他の部員が選んだ感情を、自分だったらこんな風な作品にしたい」という、他の感情に対してもデザイン画を描き、比較できるような展示にしました。

# 不安

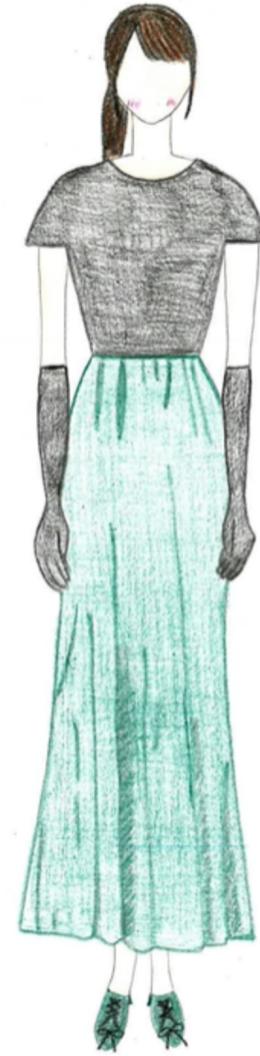
不安という感情から黒と青の2色が頭に浮かんだので、その2色を基調としています。

また、かつては現存しなかった青薔薇の花言葉は「不可能」でしたが、科学の進歩によって作出されたため「夢叶う」に改正されたことから、「不安があっても乗り越えられる」という意味を込めて青薔薇をモチーフにしています。

襟をスタンドカラー(首に沿って立っている襟の形)にすることでプレッシャーで窮屈な感じというのをも表現してみました。

全体的にダークな配色ですが、その中に輝きが込められているところもこだわったポイントの1つです。





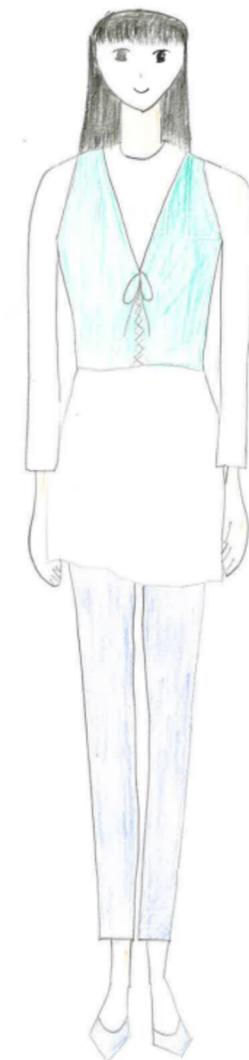
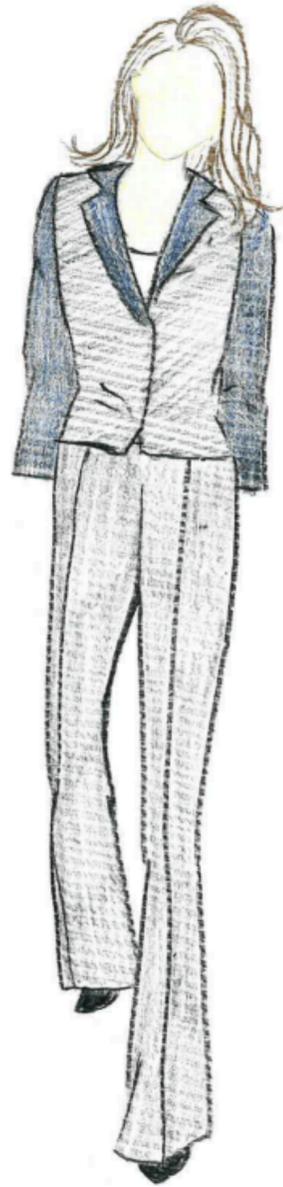
# 自信



「自信」から「何色にも染まらない」という言葉を連想し、黒をメインに使い、重たい印象になるように丈は長めに設定しました。

また、感情は内側にあるイメージなので外側にレース生地のパーツを付けました。





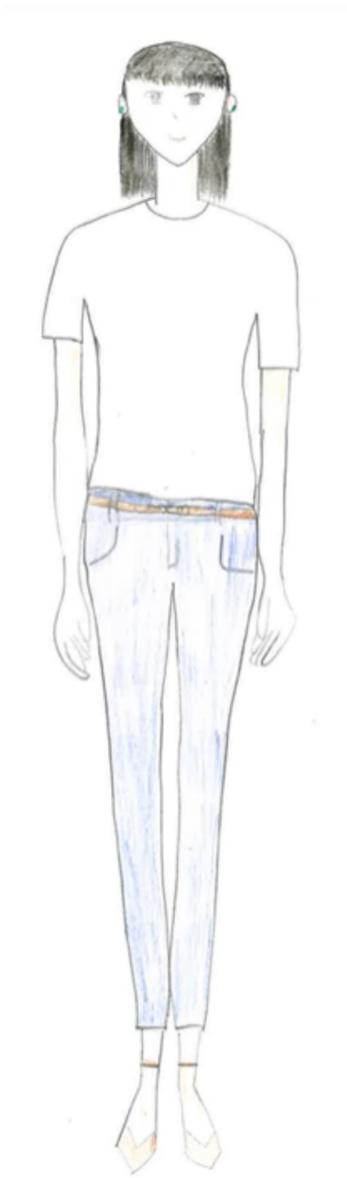
# 怒り

怒りという感情は攻撃的なイメージが強いので、スタッズやチェーンをつけました。また、弱くて未熟な人間ほど自分の自尊心・内面を守ろうとして

抱く感情だとも思ったので不完全な部分を表現するために

片方の袖を違う素材や長さにしました。





# 幸せ

この衣装は、私にとっての幸せを表現しながら作成しました。

私は家族や友達と出かけることが好きなので、特に印象に残っている、友達とラベンダー畑に行った思い出をイメージしました。

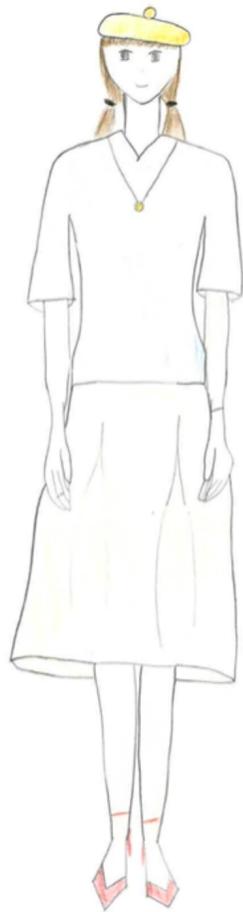
ふわふわとした真っ白な幸せを表現したドレスに、ラベンダー畑の思い出を表現したスワロフスキーを胸元に散りばめました。

ポイントはスワロフスキーの並べ方です。

ただ散りばめただけでなく、風に吹かれ

ラベンダーが揺れている様子をイメージしました。





# 楽しい

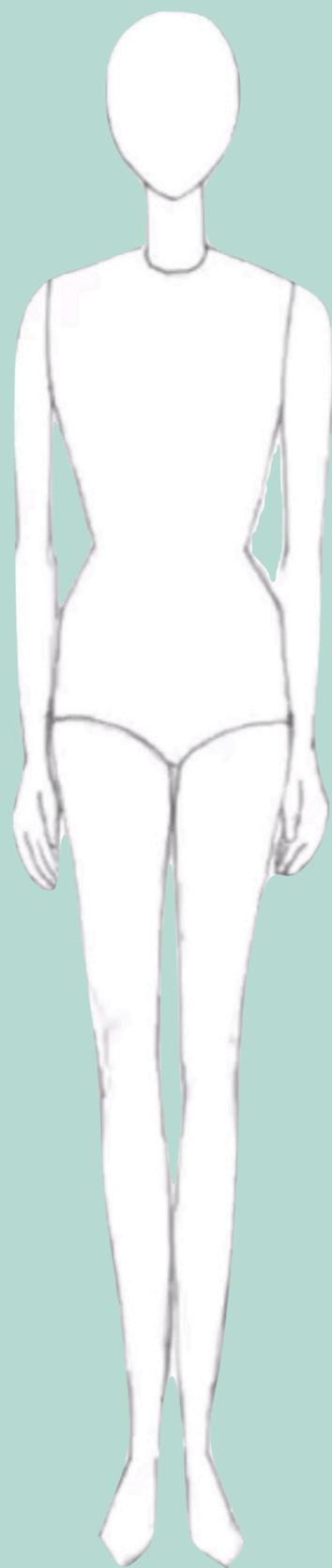
私にとっては青が「楽しい」と感じる色なので、青を基調としました。

フリルや小物を作ることで、より楽しいと思うことが出来ると思います。

襟の部分と服の部分で色を分けることで色を飽きさせない様にしました。







皆さんはどんなデザインを  
想像しましたか？